

乙 第 号

松村 八千代 学位請求論文

審 査 要 旨

奈 良 県 立 医 科 大 学

論文審査の要旨及び担当者

	委員長	教授	中瀬 裕之
論文審査担当者	委員	教授	杉江 和馬
	委員(指導教員)	病院教授	山中 敏彰

主論文

Orthostatic hemodynamics in the vertebral artery and blood pressure in patients with orthostatic dizziness/vertigo

起立性めまいにおける起立時の椎骨動脈血流動態と血圧の影響

Yachiyo Matsumura, Toshiaki Yamanaka, Takayuki Murai, Nobuya Fujita, Tadashi Kitahara

Auris Nasus Larynx 2022 in press

論文審査の要旨

起立性めまい (ODV) は、日常診療でよく見られる病態であり、一般的にはその発症に起立性低血圧 (OH) が関与すると言われているが、その詳細な発症メカニズムは不明である。一方、椎骨動脈 (VA) は、中枢前庭系に血液を供給していることから、起立により同血流が低下すると ODV が発症する可能性がある。そこで、本研究では ODV 発症における起立時の VA 血流動態の影響について調べ、さらに VA 血流動態と OH との関連性について調べた。

ODV 症例とコントロール症例で起立時の VA 血流動態を比較すると、ODV 症例において有意な血流速度の低下を示した。また VA 血流動態と OH の関連性について調べると、OH 合併例において、ODV 症例はコントロールと比較して有意ではないが著明な VA 血流の低下を示した。一方、OH 非合併例において、ODV 症例は有意な血流低下を示した。以上の結果から、ODV の発症には起立による VA 血流動態が密接に関与しており、VA の血流動態には OH に加え、その他の因子が関与する可能性が示唆された。

本研究は、起立による VA 血流低下が ODV を発症させることを解明した世界初の報告であり、今後 ODV のさらなる病態の解明や、治療への応用など、臨床において有益な効果をもたらすことが期待される。

参 考 論 文

1. 急性低音障害型感音難聴の再発例、メニエール病移行例の検討

藤田 信哉, 松村 八千代, 山中 敏彰, 岡本 英之, 北原 紘 *Equilibrium Research* 79 卷 3 号 Page148-155(2020.06)

2. 地域医療支援病院耳鼻咽喉科におけるめまい症例の臨床的検討

藤田 信哉, 岡本 倫朋, 山中 敏彰, 松村 八千代, 北原 紘 *Equilibrium Research* 76 卷 4 号 Page261-269(2017.08)

3. Endolymphatic space size in patients with Meniere's disease and healthy controls

Taeko Ito, Tadashi Kitahara, Hiroshi Inui, Toshiteru Miyasaka, Kimihiko Kichikawa, Ichiro Ota, Kazuhiko Nario, Yachiyo Matsumura, Toshiaki Yamanaka

Acta Otolaryngol. 2016 Sep;136(9):879-82.

4. Long-term effects of electrotactile sensory substitution therapy on balance disorders.

Yamanaka T, Sawai Y, Murai T, Nishimura T, Kitahara T.

Neuroreport. 2016 Jul 6;27(10):744-8.

5. New treatment strategy for cupulolithiasis associated with benign paroxysmal positional vertigo of the lateral canal: the head-tilt hopping exercise.
Yamanaka T, Sawai Y, Murai T, Okamoto H, Fujita N, Hosoi H.
Eur Arch Otorhinolaryngol. 2014 Dec;271(12):3155-60.

6. Bilateral subclavian steal syndrome with vertigo.
Yamanaka T, Sawai Y, Hosoi H.
Auris Nasus Larynx. 2014 Jun;41(3):307-9.

7. The effect of prostaglandin E1 on brainstem blood flow disturbance in an animal model of vertebrobasilar insufficiency.
Yamanaka T, Murai T, Sawai Y, Okamoto H, Hosoi H.
Eur Arch Otorhinolaryngol. 2014 May;271(5):947-51.

8. The prevalence and characteristics of metabolic syndrome in patients with vertigo.
Yamanaka T, Fukuda T, Shirota S, Sawai Y, Murai T, Fujita N, Hosoi H.
PLoS One. 2013 Dec 3;8(12): e80176.

9. Osteoporosis as a risk factor for the recurrence of benign paroxysmal positional vertigo.
Yamanaka T, Shirota S, Sawai Y, Murai T, Fujita N, Hosoi H.
Laryngoscope. 2013 Nov;123(11):2813-6.

10. A new supporting material for fascia grafting during myringoplasty: polyglycolic acid sheets.

Yamanaka T, Sawai Y, Hosoi H.

Otolaryngol Head Neck Surg. 2013 Aug;149(2):342-4.

11. 自律神経失調によるめまいの診断と治療

澤井 八千代：内藤 泰（専門編集），ENT 臨床フロンティア めまいを見分ける・治療する，中山書店，237-243，東京，2012.10.15

12. BPPV と骨粗鬆症の臨床的關係

山中 敏彰，城田 志保，澤井 八千代，村井 孝行，清水 直樹，福田 多介彦，岡本 英之，藤田 信哉，細井 裕司

Equilibrium Research 71 卷 1 号 Page33-39(2012.02)

13. めまい疾患におけるメタボリックシンドロームの臨床分析

山中 敏彰，福田 多介彦，澤井 八千代，城田 志保，清水 直樹，村井 孝行，岡本 英之，藤田 信哉，細井 裕司

日本耳鼻咽喉科学会会報 114 卷 1 号 Page24-29(2011.01)

14. 水平(外側)半規管型 BPPV クラ結石症に対する新規治療法 側方頭部傾

斜・跳躍運動によるクラ結石遊離の試み

山中 敏彰，澤井 八千代，村井 孝行，藤田 信哉，細井 裕司

Equilibrium Research 69 卷 3 号 Page127-133(2010.06)

15. 小児めまい・平衡障害症例の臨床的検討

澤井 八千代, 山中 敏彰, 村井 孝行, 藤田 信哉, 細井 裕司. 小児耳鼻咽喉科 31 巻 1 号 Page59-65(2010.03)

16. 起立性めまいと血圧低下および椎骨動脈血流動態の関係

澤井 八千代, 山中 敏彰, 村井 孝行, 藤田 信哉, 細井 裕司. Equilibrium Research 69 巻 1 号 Page52-57(2010.02)

17. 起立性めまいと血圧低下の関係 起立試験による検討

澤井 八千代, 山中 敏彰, 村井 孝行, 藤田 信哉, 細井 裕司. Equilibrium Research 68 巻 1 号 Page41-44(2009.02)

以上、主論文に報告された研究成績は、参考論文とともに耳鼻咽喉・頭頸部外科学の進歩に寄与するところが大きいと認める。

令和4年3月8日

学位審査委員長

脳神経機能制御医学

教授 中瀬 裕之

学位審査委員

臨床神経筋病態学

教授 杉江 和馬

学位審査委員(指導教員)

耳鼻咽喉・頭頸部外科学

病院教授 山中 敏彰